

第8回、映画上映会のお知らせ！

タイトル：風と共に去りぬ

兼8月弘明寺サロン

日時：2016年8月13日(土) 13:00~17:00

会場：放送大学神奈川学習センター 第8講義室

上映前20分間にアメリカの歌+学歌を合唱します

上映後場所を移して「弘明寺サロン」を開催します

解説

1936年6月に出版されたマーガレット・ミッチェル原作の『風と共に去りぬ』が世界的ベストセラーとなり、早くも出版の翌月に映画製作者のデヴィッド・O・セルズニックが映画化権を獲得し、その後3年の歳月と当時の金額で390万ドルの製作費をかけて全編で3時間42分という大長編映画を完成させ、1939年12月15日にワールドプレミアとして初公開して空前の大ヒットとなった映画である。

1940年のアカデミー賞で作品賞、監督賞、主演女優賞（ヴィヴィアン・リー）、助演女優賞（ハティ・マクダニエル・黒人俳優初）、脚色賞ほか特別賞を含め9部門を受賞した。



入場無料 事前申し込み不要
どなたでも参加できます、直接会場にお越し下さい

主催：放送大学神奈川同窓会

担当：放送大学神奈川同窓会 映画研究同好会 寺村 紀美夫、柳澤 明男、大野 貴司、古本 教子

映画のストーリー

1861年、南北戦争が始まろうとする直前。ジョージア州タラの大地主ジェラルド・オハラ（トーマス・ミッチェル）の長女スカーレット（ヴィヴィアン・リー）は、榎の木屋敷と呼ばれる同じ大地主ウィルクス家で明日開かれる野外宴会に、その嫡子で彼女の幼馴染みであるアシュリー（レスリー・ハワード）と彼の従妹メラニー（オリヴィア・デ・ハヴィランド）の婚約が発表されると聞いて心おだやかでなかった。激しい気性と美しさをあわせ持つスカーレットは、多くの青年の憧れの的であったが、彼女の心はアシュリーとの結婚をかたく決意していたのだ。宴会の当日スカーレットは想いのたけをアシュリーにぶちまけたが、彼の心は気立ての優しいメラニーのものであった。スカーレットはそこで、チャールズトン生まれの船長で素行の評判の良くないレット・パトラー（クラーク・ゲイブル）に会い、彼の臆面のない態度に激しい憎しみを感じながら、何か惹きつけられた。突然、戦争の開始が伝えられ、スカーレットは失恋の自棄からメラニーの兄チャールズの求婚を受け入れ結婚した。メラニーと結婚したアシュリーもチャールズも戦争に参加した。だがチャールズは戦争で病を得て死に、スカーレットは若い身を喪服に包む生活の味気なさからアトランタのメラニーの元へ行き、陸軍病院のバザーでレットと再会した。レットは強引に彼女に近付いてきた。戦況はその頃南軍に利なく、スカーレットとメラニーは看護婦として働いていたが、やがて、アトランタは北軍の接近に脅えた。スカーレットと生まれたばかりの子供を抱えたメラニーは、レットの御する馬車で故郷へと向かった。レットは途中ひとり戦線へ向かい、のこされた2人はやっとの思いでタラの地に着くが、すでに廃墟になって、北軍にすっかり蹂躪されたあとだった。後篇＝戦争は南軍の敗北に終わった。捕虜になっていたアシュリーがかえって来てメラニーを喜ばせたが、スカーレットは再び彼に愛を告白してはねつけられた。タラは重税を課され、土地を守る決意を固めたスカーレットは、その頃北軍の営倉に捕らえられていたレットに金策を頼みに行ったが、断られた。彼女は妹スーレン（イヴリン・キース）の許婚フランクが事業に成功しているのを見て、欺いて彼と結婚し、事業を自分の手中に収めてアシュリーを仲間に引き入れ、唯金儲けだけに生きるようになった。フランクが死んで、スカーレットはレットと結婚し、娘ボニーを生んだが、まだアシュリーへの想いが断ち切れず、レットはもっぱらボニーへ愛情を注いだ。こうした結婚生活の不調和から、レットはボニーを連れロンドンへ行ったが、ボニーが母を慕うので再び戻ってきた。ところがボニーが落馬して死に、メラニーも病死してしまった。このためレットとスカーレットの結婚生活はまったく破れ、レットはチャールズトンへと去っていった。スカーレットはこのとき初めてレットを愛していたと気付くが、一番愛しているのはやはりタラの土地であった。彼女はタラに帰ってすべてを考え直そうと決心した。

スタッフ

監督 ヴィクター・フレミング

脚色 シドニー・ハワード

原作 マーガレット・ミッチェル

製作 デイヴィッド・O・セルズニック

キャスト

Scarlett : ヴィヴィアン・リー

Rhett_Butler : クラーク・ゲイブル

Melanie_Hamilton : オリヴィア・デ・ハヴィランド

Ashley_Wilkes : レスリー・ハワード

Suellen : イヴリン・キース

Gerald_O'Hara : トーマス・ミッチェル

Ellen : パーバラ・オニール

Carreen : アン・ルザーフォード

上映の前の演奏曲名（アメリカの歌+学歌を合唱）

1. 懐かしきケンタキーの我が家（フォスター）
2. 金髪のジェニー（フォスター）
3. 故郷（はるかなるスワニー河）（フォスター）
4. 思い出のグリーン・グリーングラス・オブ・ホーム
5. 峠の我が家
6. 学歌